

50km

40km

第13回全国農村サミット 2011

「地域の復興再生力と大学の役割」

日本大学生物資源科学等の主催により、近年の大学に強く要請されている社会貢献の一助となる教育・研究の推進を目的として、「全国農村サミット」を平成11年度から毎年度開催し、本年度で第13回目となります。参加者は、積極的、行動的に農林水産業・農山漁村の振興の政策・行政を展開されている知事・市町村長をはじめ、市町村現地組織関係者、一般市民および本学の総長・学部長・教職員・院生・学生等です。

「地域と大学の連携」をメイン・テーマとした、シンポジウム（基調講演、報告、パネル・ディスカッション等）および分科会より、「市町村と日本大学、本学部との連携はどのようであるべきか」への提言を含め、熱意ある意見交換と課題の抽出を行い、具体的な連携行動も拡大してきています。

本年度は、3月11日に発生し現在も災害中である東日本大震災を踏まえ、「地域の復興再生力と大学の役割」を全体テーマとして、本学部が深く関係している市町村長を交えて、被災現地での被害状況と今後の対策、そして、地域の復興再生に向けて、大学が果たすべき役割について具体的な展望を探っていきます。

開催日時：平成23年11月25日（金）14:00～19:00、26日（土）9:00～16:30

会場：日本大学生物資源科学部（小田急江ノ島線 六会日大前駅徒歩3分）、本館

主催：日本大学生物資源科学部、日本大学大学院生物資源科学研究科・獣医学研究科

後援：神奈川県藤沢市（予定）

参加：市町村長等現地組織関係者・本学教職員・大学院生・学生・一般市民

参加費無料

11月25日（金）14:00～16:30

14時00分～ 分科会討論（NUホール）

「森・農地の被害と復興再生・支援」

「漁村の被害と復興再生・支援」

「環境・まちむらの被害と復興再生・支援」

17時00分～ 交流会

11月26日（土）9:00～16:30（午前：大講堂、午後：中講堂）

9時00分～ 開会挨拶 日本大学総長

生物資源科学部長、全国農村サミット運営委員長

9時15分～ 基調講演 「災害対応と持続可能な地域づくり」

藤沢市長 海老根靖典氏

10時15分～ 全国からの災害復興報告

「火山被害と復興再生」

宮崎県高原町長

日高光浩氏

「漁業漁村の被害と復興再生」

北海道八雲町長

川代義夫氏

「原発被害と復興再生」

福島県飯舘村長

菅野典雄氏

「災害ボランティア活動」

RQ市民災害救援センター代表

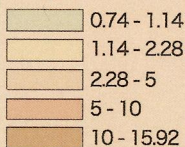
広瀬敏通氏

12時45分～ 昼食

13時15分～ ポスターセッション

14時00分～ 全体集会（分科会報告・質疑・討論・総括） 中講堂

16時25分～ 閉会挨拶：生物資源科学部次長



飯舘村放射線量調査

(7月27日車内)

日大（糸長・小澤・関）

— 福島原発からの距離

